b プログラム

The 住み開きシンポジウム！

住み開きをしている人、したい人、したいって程じゃないけど興味はある人などがざっくばらんに話しあうサロンイベントを開催。

主催：大阪市　企画運営：財団法人大阪城ホール／應典院寺町倶楽部

The 住み開きシンポジウム！vol.1
～プライベートな空間をパブリックに開くことの楽しさと気苦労～

「住み開き」について真剣に語り合うシンポジウム(とは言え参加者も一緒に喋れる気軽な場です)第一弾は、ランドスケイプデザイナー 花村周寛さんの住み開きスペース「♭(フラット)」にて開催。ここは演劇の稽古場として、クリエイターのシェアオフィスとして、またアーティストの滞在施設として、様々な可能性を持った実験的なスペースです。この日はゲストに、美術家として様々な地域で色々な人が集まれる共有空間の開発に取り組む小山田徹さん、そして社会学者として数年前に大阪市北区にて自宅兼カフェ「大淀南借家太陽2」を実験的に運営していた渡邊太さんをお招きし、住み開きについてのハード面(改修 / 補修など)に関する知識やスキル、ソフト面のアイデア出し、そしてこのアクションの楽しさと知られざる気苦労について語り合います。是非、今後少しでも住み開こうと考えている方、実際住み開くかは別としてそういうアクションに興味がある方、ドシドシお越しくださいませ。

日時：2009年8月2日(日) 15時～18時
(終了後 交流バーあり)
参加費：無料(※交流バー飲食は要実費)
定員：25名
(※要予約。詳しくは築港ARC projectまで)

会場住所：♭(フラット)
大阪市東成区中本3-10-2
地下鉄中央線緑橋駅3番出口から東へ進み、ソフトバンクショップの筋を左へ、100m先の左手に見える古い工場。1Fに印刷会社あり。
E-mail：flwmoon@mac.com
通常開業時間：不定休(詳しくはflwmoon@mac.com まで)

携帯地図用QRコード

ゲスト：
花村周寛(ランドスケープアーティスト / 役者)
風景というテーマで領域横断的な表現活動に取り組む。建築や造園などの環境デザインをベースにインスタレーションなどの美術作品やプロダクトの製作などを行うかたわら、映画や舞台での演技を通して、人間の眼差しやコミュニケーションがまむ風景の表現にアプローチする。2008年には実験スペース「♭」を緑橋に立ち上げ、そこを拠点に今後も活動を続ける予定。大阪大学コミュニケーションデザインセンター特任教員。

小山田徹(美術家、風景収集狂者 / Land Scape Maniac)
1984年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成し、おもに企画構成、舞台美術を担当した。現在は個人的に休業中。1990年から、コミュニティセンター「アートスケープ」や「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェ「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加、さまざまな共有空間の開発をおこなっている。

渡邊太(社会学者 / International NEET Union)
2000年代半ば、梅田スカイビル付近の借家で自宅カフェを運営。その後、公園カフェ、河川敷フリーコンサート、早むしし、ビラ作りなど迷走をつづけ、最近は西淀川区のカフェコモンズで毎週金曜日に「太陽＋コモンズ大学」を開講している。著書「未期資本主義の精神(仮)」(近刊)。大阪大学、NPO recip所属。

進行：**アサダワタル**(築港ARCチーフディレクター / 大和川レコード)

携帯地図用QRコード

The 住み開きシンポジウム！vol.2
～津々浦々の住み開き事例レポート、そして青森の住み開きから近頃のホームパーティー事情まで！～

「住み開き」について真剣に語り合うシンポジウム第二弾は、大阪北区は南森町にある「208」にて開催！ここは住居用マンションを利用したクリエイター自主運営のサロンスペース。美術、音楽、映像、ファッション、執筆など異なるジャンルのクリエイターが集まり、各自のスタジオとして使用しながら、定期的なパーティー、サロン、上映会、ワークショップなどを開いております。この日はゲストに、「208」の立ち上げ人である美術家/執筆・編集者の岩淵拓郎さんに世界各国の最新ホームパーティー事情についてご紹介いただきながら、本プロジェクトで取材を重ねてきた様々な住み開き事例を一挙に発表いたします。また、青森県八戸市にて中心市街地活性化を目指して住み開き実験を今まさに行おうとしている今川和佳子さんにもお話をいただきます。是非、今後少しでも住み開こうと考えている方、実際住み開くかは別としてそういうアクションに興味がある方、ドシドシお越しくださいませ。

日時：2009年8月30日(日)18時～21時
(オープン(17時半)
参加費：1,000円(資料代、軽食ドリンク代)
定員：25名
(※要予約。詳しくは築港ARC projectまで)

会場住所：208南森町
※住居用マンションという条件により住所を一般公開しておりません。ご予約いただいた方にのみ個別にお知らせいたします。
通常開業時間：不定休
(詳しくはhttp://www.mediapicnic.com/208/まで)

携帯地図用QRコード

ゲスト
岩淵拓郎(美術家 / 執筆・編集者 / 208メンバー)
兵庫県生まれ。関西を中心に言葉とその意味をモチーフとした作品を発表。同時に雑誌・新聞などの執筆と編集、ブログやポッドキャスト、ミニFMなどパーソナルメディアによる情報発信の実験と実践を継続的に行なっている。04年～、大阪市南森町のクリエイター自主運営のワークスペース「208」を運営。

今川和佳子(八戸市中心市街地地域観光交流施設・開館準備スタッフ)
青森県八戸市出身。東京の大学卒業後、飲食やファッション関係の仕事を通して、企画・コーディネート等に携わり、2008年に八戸に戻る。現在八戸市に建設中の施設の準備スタッフをしながら、主にアートやウフェスコンクリの分野から活性化に取り組む。住み開きのイメージソースは、油絵画家の父親のアトリエの光景と、その記憶。

進行 / 事例報告
アサダワタル(築港ARCチーフディレクター / 大和川レコード)

携帯用QRコード

a プログラム

突撃！あなたのまちの住み開きフィールドワーク

大阪市内の中央区、西区、西淀川区、都島区の各スペースの活動紹介と此花区の住み開き向けの物件紹介ツアーを敢行。

主催：應典院寺町倶楽部

住み開きフィールドワーク①
超先鋭的住み開き事例
なんと自宅で洞窟！沢先生の洞窟レクチャー

「今から遡ること六十年前、『松明』を掲げて洞窟に入った小学生」は、未来へと続く好奇心の扉を開けます。その時の感動を原点に洞窟の研究を続け、近年ようやくその成果を目に見える形でまとめることができました。2004年の夏には、自宅の地下に、ミニ洞窟を出現させ、あれよあれよと世界中の主な洞窟の様子が、目でわかる「洞窟料理人門」を開行。2007年の夏には、別宅の1階に「さわ洞窟ハウス」を、2009年は、別宅の2階に「洞窟情報サロン」をそれぞれ完成させました。このささやかな試みが、多くの市民、とりわけ子どもたちの無限の夢と知的好奇心を掻き立てる場となり、大阪の新名所として広く愛されるサロンになっていくことを願ってやみません。

（沢敷さんHPより一部抜粋）

携帯地図用QRコード

日時：2009年7月18日(土) 10時～12時
参加費：無料
定員：10名(※要予約。詳しくは築港ARC projectまで)
会場住所：さわ洞窟ハウス(洞窟情報サロン)
集合場所：JR神戸線塚本駅改札口に9時半集合
大阪市西淀川区野里1-16-23
http://www.sawaisao.com
通常開業時間：不定休(詳しくはsawaisao@nifty.com まで)

住み開き人：**沢敷**(さわ洞窟ハウス(洞窟情報サロン) 代表)
世界の約300カ所の洞窟を訪ね、研究を続けている。大阪市西淀川区の自宅向かいにある別宅を2年かけて改造し、洞窟の成り立ち や内部の二次生成物などが一目でわかる「さわ洞窟ハウス」を自分の手で作り上げた。大阪経済法科大学教養学部名誉教授、NPO法人洞窟環境NET学会会長。

住み開きフィールドワーク②
“部屋で古本屋”こんな感じで古本屋になってみた

京橋の自宅部屋を古本屋としてオープンしている弔川ヨウヘイさん。「メガネヤ」という不思議な名前ですが正真正銘の古本屋です。まず靴を脱いで入るところからプライベート感を抱きつつも、いざ見渡せば辺り一面古本だらけ。特に絵本やアート系雑誌などが充実しているこの空間。気がつけば休に座りふみまったり長居をしてしまいます。市川さんいわく「古本屋の仕事、それは本を通して世の中の趣味や興味と関わり、古本を通して本を売り買いする人たちの気分に触れるということ。だそう。長年、古本業界でお仕事をされ、そして古本を通して人が集う“場”をご自分の部屋から無理なく作り上げてきたその背景に迫ります。

携帯地図用QRコード

日時：2009年7月19日(日) 18時～20時
参加費：無料(よければ本を買ってください。)
定員：10名(※要予約。詳しくは築港ARC projectまで)
会場住所：古本屋メガネヤ
大阪市都島区片町2-7-12 オークランドビル301(北側2F)
京阪京橋駅片町口から徒歩5分
JR東西線大阪城北詰駅1番出口から徒歩2分
地下鉄長堀鶴見緑地線大阪ビジネスパーク駅から徒歩5分
tel. 090-7551-0689　http://blog.zaq.ne.jp/megane/
通常開業時間：不定休、13時～(来店前に電話がベター)

住み開き人：**市川ヨウヘイ**(古本屋メガネヤ店主)
1978年生。大学在学中より古本屋でアルバイトを始める。そのまま古本屋の道へ。ブックオフなどの大型古書店を渡り歩き、古本屋の持つ魅力と可能性を考えるようになる。2004年頃より大阪の京橋で部屋が古本屋のメガネヤを始める。現在は24時間お客様を募集中。

住み開きフィールドワーク③
屋上をみんなで楽しもう。今年の夏を乗り切るはよづくり in 空庭(猛暑を伝って)～その後はみんなで空庭ごはん～

都会でもサスティナブルでスローな生活が出来ることを発信し提案する、大阪の都心にある農と緑を楽しめるカフェスペース、造園プランナーである「空庭」こと山内美陽子さんのご実家のお祖母さんの部屋と屋上に手を加えた空間は、オフィス街の真ん中であることを忘れてしまいそうなほどゆったりと夏の強烈な日差しを和らげ、緑にも人間にも涼をあたえてくれる。屋上日よけづくりを したのち、屋上で育っている野菜(空畑野菜)をメインに夜ごはんをつくり、みんなでゆったりとした時間をすごしましょう。

携帯地図用QRコード

日時：2009年7月26日(日) 16時～20時
参加費：無料(空畑野菜、ドリンク代として要1,000円)
定員：15名
(※要予約。詳しくは築港ARC projectまで)
会場住所：谷町空庭
大阪市中央区常盤町1-1-8 6階及び屋上
地下鉄中央線谷町四丁目駅 6番出口から徒歩3分
tel. 06-6949-0679　http://www.soraniwa.net
通常開業時間：水、土(11時半～日没営業)

住み開き人：**山内美陽子**(造園プランナー、谷町空庭店主)
「都会で里山」をコンセプトに、まちなかでの土・緑・農のある暮らしを提案する造園プランナー。最近はライフワークのひとつに、まち耕し系として、ベランダや屋上、周辺農地をみんなで耕すプチ自給農プロジェクト「空畑(そらはた)クラブ」を展開中。

d プログラム

アーティストによる“プチ”住み開き体験イベント

音楽家、美術家、映像作家の３名の芸術家の方々に、自宅を一時的にイベントスペースへと変えるいわゆる「プチ住み開き」していただき、展覧会や上映会などを開催します。

主催：各住み開きアーティスト×應典院寺町倶楽部

住み開きフィールドワーク④
此花区梅香～四貫島エリア物件ツアー!!
～住み開き物件、ご用意してます～

２００８年から大学生が自分たちで改修した家に住み、改修の様子や梅香での暮らしのレポートをするプロジェクト「梅香に住もう」アート、デザインや建築に関わる若者たちが自分たちの目線で街の情報を発信し、若者が住みたくなる街「梅香」をアピールされてます。今回はこのプロジェクトに関わっているＮＰＯ法人プラス・アーツの高林洋臣さんツアーガイドとしてお招きし、梅香一人情味溢れる商店が建ち並ぶ四貫島エリアの物件ツアーを企画！住み開きの可能性溢れる空き物件も紹介しますよ～ツアー終了後は「モトトタバコヤ(元タバコ屋)」にて交流会を開催予定。

日時：2009年8月9日(日) 15時～18時
(終了後「モトタバコヤ」にて交流会あり)
参加費：無料(交流会飲食代は別途要)
定員：10名(※要予約。詳しくは築港ARC projectまで)
集合場所：阪神なんば線千鳥橋駅改札口に15時集合

[注意事項]
・雨天決行いたします
・屋外を歩きますので暑さ対策は万全に願います
「梅香に住もう！」問い合わせ先：
http://www.baikanisumo.net
info@plus-arts.net (NPO法人プラス・アーツ)

ツアーガイド：**高林洋臣**(NPO法人プラス・アーツ事務局員)
2008年、大学の設計演習を機に此花区梅香・四貫島エリアに出会い、“若者の住むまち梅香”をめざして活動している「梅香に住もう！」に立ち上げから関わる。同年7月より梅香に移り住み、現在、梅香住民。2009年、NPO法人プラス・アーツに入社し、此花区での一連の活動を担当している。

住み開きフィールドワーク⑤
『プロフィール展と、FLOATで話す日

FLOATは、川沿いの工場通りにある倉庫です。２００８年８月から住居兼オープンスペースとして利用を始め、不定期にイベントを開催しています。今回は、会期中の『プロフィール展(企画：小田篤一郎／制作：FLOAT)』に参加頂きつつ、「住み開きアートプロジェクト」の文脈から場所についてもお話して、何かご一緒に考えられたらと思っています。以下に、今回のお誘いにあたってのテキストを公開しましたのでご興味のある方はそちら覗せつご覧下さい。
http://www.chochopin.net/file/24/

携帯地図用QRコード

日時：2009年8月29日(土)17時半～19時
(※上記はトークの時間帯。展示は14時～20時参加可能)
参加費：無料（1ドリンク付）
会場住所：安治川倉庫FLOAT
大阪市西区安治川2丁目1-28
地下鉄中央線九条駅3番出口から徒歩10分
JR環状線西九条駅から徒歩10分
tel.090-9860-2784　http://float.chochopin.net
通常開業時間：不定休(来店前に電話がベター)

住み開き人：**米子匡司**(音楽家 / プログラマ / FLOAT管理人)
1980年生まれ。トロンボーン・ピアノ・声・コンピュータなどを使った音楽制作と演奏、電子機械やコンピュータを使った物事の制作、展示やライブなどを行う。FLOAT管理人・イベント企画制作担当。明市立中学校 総合学習「コンピュータとメディア」担当講師。音楽グループ SJQ メンバー。

住み開きライブ上映会
そこになくて ここなのだろう
宮本亘、宮本伸子、宮本博史、(宮本登志一・宮本トミ子)

私の父方の祖父母は、戦後から大阪市阿倍野区に住み始めました。そこに父と母も住み、私も住んでいます。その間に、自宅である下町アパートは、賃貸マンションに建てかえられましたが、祖父と祖母は、今はもう住んでいません。私は、これからもここに住み続けると思います。

敬白　宮本博史

この展覧会は、ある一家族の記録物、ホームムービーや家族アルバム、日記、手紙、契約書、トロフィー、湯呑み、ふすまの汚れ、記憶、親子関係など、さまざまなものを展示します。
宮本家の資料室へ、どうぞお越しください。
もしよろしければ、展示物に関する思い出話などもいただきます。

携帯地図用QRコード

日時：2009年7月30日(木)～8月10日(月) 13時～20時
参加費：無料
会場住所：
大阪市阿倍野区三明町2-7-23 宮本マンション502号室
住み開き人連絡先：
Tel: 090-9878-7340
E-mail: miyamoto@sonritsu.info

住み開き人：**宮本博史**(アーティスト)
「さまざまな人や物の記憶や存在・価値観との、関係について」作品を制作。映像作品や音作品・インスタレーション・パフォーマンス・web・プロジェクト型の作品など、ジャンルにとらわれない表現を模索している。AHA! [Archive for Human Activities / 人類の営みのためのアーカイブ]にて、第4回福岡アジア美術トリエンナーレ2009に出展します。http://itonami.info

住み開きお散歩ライブ
22一の庭に、火が灯る?!
12人の住み開き討論会?!～お盆の12人編

akama r 22一が、住み開きアートプロジェクト「の言い出しっぺアサダワタルから突然投げかけられた「自宅でイベントしない?」とのお題を受けて、ホームタウンの四天王寺界隈を、家と見立てて、彼女自身が散歩ガイドとして練り出すお散歩音楽企画。昼間と夕方の二部制でお届けするこのトンデモ企画は、ポカポカ陽気の中、「晴れれば」、akama r 22一の歩き上げ歌い終り?!半日無駄後で展開し、そしてほんの少しお客さんと駄染んだ後は、akama r 22一が自分も庭の一所有者であると思い込んでいる?!「?」四天王寺さんのお庭ライトイベント「万灯ようつ」のトンネルを抜けて、夕ご飯タイム！「住み開き」「家」などのお代で、12人で座算会?!喋りまくる！!?

日時：2009年8月14日(金) 18時～21時
参加費：500円(地図、夕飯代)
定員：残席10名!!
(※要予約。詳しくは築港ARC projectまで)
集合場所：地下鉄谷町線四天王寺前夕陽ケ丘駅4番出口に18時集合
注意事項：
・雨天決行いたします
・屋外を歩きますので暑さ対策は万全に願います
住み開き人連絡先：E-mail:akamarsky@ybb.ne.jp

住み開き人：**akamar 22！＜アカマーツーツー＞**(大阪を拠点に活動するシンガーソングライター)
劇団補新演にて、活動後、フリーキーなトリオバンド『INDIAN NO ECHO SIGN 8INE NO!』ドラム担当。バンド活動休止後、＜akamar22!＞と名乗り、ソロパフォーマンスを始める。歌・ギター・サンプラーの配置のずれたスタンダード・ファンタジー・ファニー・ロック！　http://d.hatena.ne.jp/akamar1212

住み開きライブ上映会
マイハウススタジオ映画館

家にちらばる太鼓、鈴、ピアノ、アフコーディオン、マラカス、ギター、カセットデッキ、鉄琴、弦の切れたバイオリン、玩具、電子音、鍋、クラッカー…。映画＋音楽ジョーブリミ恥部な世界を観客参加型上映ライブに！ブリミ恥部な世界は、ストーリーも自詞もある映画であり、同時に歌やギターやピアノの演奏を対等に進行する作品です。私を観客の後ろで楽器をならします。
映画の中の台詞や物音なども聞きながら、映画の流れも感じながら、家に転がったままの楽器や、思い思いに映画音楽に参加してください。家の中でライブを見るような感覚で、映画を見ることという試みです。

日時：2009年8月21日(金)19時～22時
参加費：500円(夕飯代)
定員：20名(※要予約。詳しくは裏面参照)
集合場所：大阪市営バス「平尾」駅に18時45分に集合
大正区平尾4-4-20水島文化庁東側
JR環状線「大正駅」下車すぐ「大正橋」バス停から「鶴町四丁目」行き(55、71、91、91A系統)乗車
※万一迷われた際、遅刻される際は、090-8524-3806(アサダ)までご連絡ください。
住み開き人連絡先：E-mail:mybrassierefilm@gmail.com

住み開き人：**平岡香純**(映画監督)
同志社大学文学部卒業。2008年、中編「落書き色町」が、ロッテルダム国際映画祭等、世界18カ国、40の映画祭で、アップリンクなどで上映される。2009年、長編　映画+音楽ジョーブリミ恥部な世界」で映画館、ライブハウスを全国ツアー中。バンド活動休止後、＜akamar22!＞と名乗り、ソロパフォーマンスを始める。歌・ギター・サンプラーの配置のずれたスタンダード・ファンタジー・ファニー・ロック！　http://www.mybrassierefilm.com

c プログラム

住み開きブログで全国レポート！

大阪のみならず関西、さらには全国津々浦々の住み開きスペースを紹介するブログを運営します。秋にはブックレットの出版も予定してます。

主催：大阪市
企画運営：財団法人大阪城ホール
應典院寺町倶楽部

取材対象先(予定含む)
オシテルヤ(福祉、アート／大阪市東住吉区、オレンジプロジェクトアート／尼崎市武庫之荘)、此花アーツファーム構想(アート・デザイン、建築／大阪市此花区)、さわ洞窟ハウス(科学、教育／大阪市西淀川区)、谷町空庭(造園、農、食、アート／大阪市中央区)、中崎町サロン文化大学(教育、食、アート／大阪北区)、2畳大学(教育、食、アート／大阪市中央区)、208南森町(アート、食、メディア、教育／大阪市北区)、♭フラット(デザイン、建築、アート／大阪市東成区)、FLOAT(アート、工作／大阪市西区)、ふたんさん文庫(食育、教育／大阪市西区)、FormalochAsign(デザイン／東京都江東区)、メガネヤ(ショップ／大阪市都島区)
その他、京都市、奈良県葛城市、青森県八戸市、神奈川県横浜市、福井県、岡山県の事例など。

何はともあれ詳しくは…**http://sumibiraki.blogspot.com** をご覧くださいませ。